

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
青梅市	小曾木・富岡地区	令和3年3月	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	13.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	9.3ha
i うち今後、農地の貸し出しや売却の意向がある農業者の耕作面積の合計	3.3ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	2.9ha
ii うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.9ha
iii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.2ha
(備考)	

2 対象地区の課題

農業従事者の高齢化や、担い手不足が顕著であり、将来、後継者不足によりさらなる耕作放棄地の増加が想定され、新たな農地の受け手の確保が必要。農地の多くが傾斜地や日照条件が短い等の営農条件が悪いため、環境に適応した特産物の発掘が必要。

また、鳥獣害の問題も深刻化しており、現在営農している農業従事者についても、鳥獣被害で営農意欲が減退しないよう、個人のみならず地域ぐるみでの電気柵等による防除策の推進が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

小曾木地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者1経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。また、農業法人等(法人化も含む)も積極的に受け入れ、生産性の向上や地域の特産物の発掘を推進していく。

富岡地区の水田利用は、中心経営体1名と地元水利組合員が担い、畑利用については中心経営体である認定農業者2経営体と認定新規就農者4経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	担い手1	露地野菜	0.9 ha	露地野菜	3 ha	小曾木・富岡
認農	担い手2	露地野菜・施設野菜	0.7 ha	露地野菜・施設野菜	0.7 ha	富岡
認就	担い手3	露地野菜	0.2 ha	露地野菜	0.4 ha	富岡
認就	担い手4	露地野菜	0.1 ha	露地野菜	0.3 ha	富岡
認就	担い手5	露地野菜・施設野菜	0.5 ha	露地野菜・施設野菜	0.7 ha	富岡
認就	担い手6	露地野菜・施設野菜	0.5 ha	露地野菜・施設野菜	0.8 ha	富岡
	担い手7	露地野菜・水稻	0.3 ha	露地野菜・水稻	0.5 ha	富岡
計	7人		3.2 ha		6.4 ha	